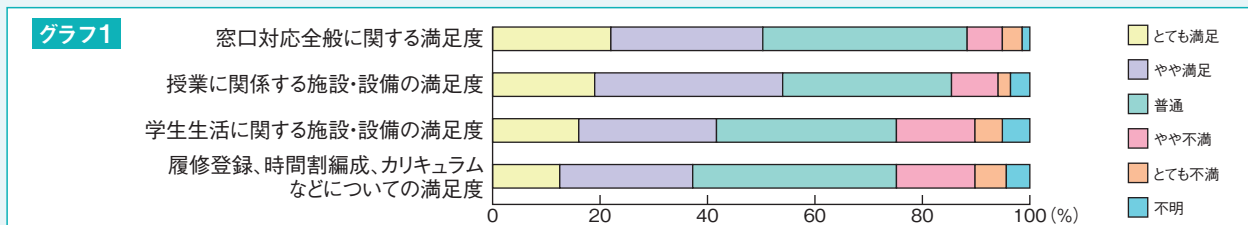


【実施日程・調査方法】 2009年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2010年1月7日から18日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスの授業内において教員から学生に直接配付し、授業欠席者、指定クラスを履修していない学生などに対しては自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・院生の皆さんから、意見を広く集めることを狙いとしており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートは、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,616名の内、3,555件のデータを回収することができ(回収率：約41.3%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は「**グラフ1**」の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」という形で大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等につきましては、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【フィードバックコメントの概要】

1. 2009年度の教育環境改善報告

窓口対応など

- ・「窓口対応スローガン」ならびに「窓口対応に関するガイドライン(行動基準)」を心がけ、前年度に引き続いてこれを励行することで窓口対応レベルの引き上げ、均等化するよう取り組みました。
- ・業務取扱に関する検討を行い、窓口の受付業務や施設利用時間について可能な限り拡充を図りました。
- ・ホームページの見直しに着手し、順次、レイアウトを改善するとともにコンテンツの充実を図りました。

教育施設

- ・敬和会館(地域と子どもリーガルサービスセンター、地域と子ども法律事務所、社会人向け大学院教室)が完成しました。
- ・新教室棟(東棟)の建設を予定通り進めました(2010年9月より一般利用開始)。
- ・アリーナに監視カメラを設置し、防犯体制を強化しました。
- ・CO₂削減、省エネルギーに関連するさまざまな取り組みを行いました。

学生生活施設

- ・敬和会館(敬和館=女子学生寮)が完成しました。
- ・学生食堂の混雑を緩和するため、テイクアウトが可能なメニューの充実を図りました。
- ・学生食堂運営業者と定期的なミーティングや試食会の開催し、メニューの見直しに努めました。また、原材料費高騰へ対処しながら、価格を据え置くように努めました。
- ・老朽化した部室棟の代替施設となる「学生センター(仮称)」の建設計画に着手しました。
- ・学外研修所の部分的な改修を行いました。
- ・分煙を推進し、喫煙禁止エリアの巡回や、灰皿設置場所の見直しを行いました。また、建物内全面禁煙の区分で埼玉県からの認証を受けました。

2. 2009年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

窓口対応について

全部課室において「窓口対応スローガン」ならびに「窓口対応に関するガイドライン(行動基準)」を励行するよう、引き続き取り組みます。また、事務的、機械的な対応にならないよう、学生個人の状況にあわせた対応にも努めます。

業務取扱時間について

業務取扱時間については前年度と同様、随時検討を行っています。

事務局の効率化について

各部課室における業務の効率化を図るとともに、掲示や広報、ホームページを通じて、事務局全体でPRに努めたいと思います。また、2010年9月の東棟完成に伴い、教務課が移転するとともに、教育研究の支援に関する新組織「教育研究支援センター」を設置します。これらの組織は学生との関わりが深いことから、適宜、運営状況を確認していきます。

教育施設・学生生活施設について

東棟が竣工した後、老朽化した第3棟、第1棟を取り壊します。第3棟の跡地利用法としては、中野貞祐記念館前に広がる緑地をイメージしたランドスケープ計画を策定しています。また、第1棟の跡地利用法としては、現在の部室棟機能にあらたな学生サービス機能を加えた「学生センター(仮称)」を新築する計画を進めます。

空調に関して、本学では省エネ、CO₂削減のための取り組み(空調エネルギーの削減など)を行っています。学生の皆さんには「クール/ウォーム・ビズ」などの実践を通じて、省エネ、CO₂削減へのご理解とご協力を求めたいと思います。

アリーナ、グラウンドについては体育会所属団体以外の団体・個人利用を望む意見が多数寄せられています。この点について現行の取扱では、アリーナ、グラウンドを特定の時間・場所において利用することが可能となっています。詳細は自己点検・評価室のホームページに掲載した、今回のフィードバックコメントに関する記事をご覧ください。

学生食堂の運営については、長年の課題である混雑の緩和策として、テイクアウトメニューの充実のほか、中庭や第3棟跡地などにランチスペースを確保することを目指します。さらに、2012年度に完成予定の「学生センター(仮称)」の建設計画の中では、食事の提供ができる学生共有スペースについて検討したいと思います。その他、メニューの改善・充実を求める意見については、例年どおり運営業者との間で協議しながら対処していきたいと思ひます。

部室棟については、学生センター(仮称)の建設計画をもって抜本的に改善が見込めることが見込んでいます。今後の検討にあたっては「学生による教育環境改善のためのアンケート」の意見なども取り入れていきたいと考えています。

学外研修所(新甲子セミナーハウス)は年間を通じて利用者が少なく、遊休期間が長い施設であります。改修等に当たっては、必要最低限な点を除き「整備が先か、利用者増が先か」という判断により対処していきたいと考えています。

その他

教室棟の老朽化に伴う(机やトイレなどの)施設改修などは、キャンパス再編計画の中で対応することとします。また、新たな施設・設備に対する要望は、新棟に関する議論の際、取り上げて検討していきたいと思ひます。

学内の各種販売所に対する意見については、例年に引き続き、それぞれの業者に伝達し、問題がある点は改善を申し入れてまいります。

喫煙・禁煙の要望については、喫煙者・非喫煙者双方の立場を尊重しながら、受動喫煙を防止するための取り組みを行います。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 <http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/index.htm>

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。